

第十七節 大正六年

大正六年度東京美術學校年報

甲 款

概況

大正六年四月六日豫備科及本科入學許可者氏名ヲ官報ニテ發表ス
同年同月九日新入學生ノ入學式ヲ行フ

同年九月二十二日選科入學許可者氏名ヲ官報ニテ發表ス

同年十月四日本校設置紀念日ニ付午前九時ヨリ紀念式ヲ行フ

大正七年一月八日午前十時ヨリ例ニ依リ職員生徒一同講堂ニ參集

シ授業始ノ式ヲ挙ゲ 御眞影奉拜 勅語奉讀ヲ行ヒタリ

同年三月二十五日午前十時ヨリ本校第廿七回卒業証書授与式ヲ行

ヒ例ニ依リテ卒業製作ヲ別室ニ陳列シテ來賓ノ觀覽ニ供シ翌二十

六日ハ關係者及有志者ニ觀覽セシメタリ

規程

本年度内ニ在リテハ創定又ハ改正シタルモノナン

設備

一、日本畫科標本臨時設備費

二、西洋畫科標本臨時設備費

三、彫刻科標本臨時設備費

〔以上は大正四〜五年度報とはほぼ同文につき省略。〕

職員

本校職員ノ俸給及諸給ハ毎年本項ニ記スガ如ク他ノ直轄學校ニ比
シテ平均額低キト從來各科増設ノ際増員ノ少キトニ職由シ常ニ不
足ニ苦ム所ナルヲ以テ之ヲ増加セラレンコト切望ニ堪ヘサルナリ
本年度ニ於ケル職員ノ數ハ學校長一人教授二十六人（内一人他校
ヨリ兼務）助教授十五人書記六人嘱託講師十四人同教員十二人同
醫師一人副科嘱託二人教務雇十一人事務雇九人ニシテ之ヲ前年度
末ニ比スレハ助教授二人書記一人ヲ増シタルモ嘱託講師二人副科
嘱託一人教務雇一人ヲ減セリ
外國留學生ハ前年度末ト同シク一人モナン
休職員ハ前年度末ト同シク教授二人アリ
生徒

全体ニ於ケル生徒ノ學力操行健康ノ狀態ハ前年度ニ比シ著シキ差
違ナク新入生モ亦同様ナレトモ健康狀態ハ佳良ナリ

本年度新入學者ハ本科百十人選科八人（外ニ外國人三人アリ）圖
畫師範科十九人研究生三十人ニシテ其入學者ノ學力ノ程度ハ本科
生ニアリテハ官公立中學校卒業者四十九人（内豫備科修了者四十二人）私立中學校
卒業者三十七人（内豫備科修了者十九人）工藝學校卒業者十五人（内豫備科修了者十四人）工業學校
卒業者九人（内豫備科修了者七人）選科生ニアリテハ中學二年以上修了者二人高
等小學校卒業者二人徒弟學校卒業者一人本校ニ於ケル試驗檢定合
格者三人圖畫師範科ニアリテハ官公立中學校卒業者六人私立中學
校卒業者三人師範學校卒業者十人研究生三十人ハ孰レモ本校卒業
者ノ入學シタルモノナリ

新入學生ノ年齢ハ本科生ハ最高二十六年四ヶ月最低十八年一ヶ月
平均二十三年一ヶ月選科生ハ最高二十六年十一ヶ月最低十八年三

ヶ月平均二十一年六ヶ月圖書師範科生ハ最高二十七年四ヶ月最低十九年平均二十三年研究生ハ最高三十年五ヶ月最低二十三年九ヶ月平均二十六年五ヶ月(孰レモ外國人ヲ除ク)ナリトス

生徒ノ入退學ハ本年度入學者ハ本科百十人選科八人(外ニ外國人三人アリ)圖書師範科十九人研究生三十人再入學者三人ニシテ退學者ハ病氣ノ退學五人家事係累退學二十四人除名九人死亡九人在學格資消滅十人(内豫備科三人研究生四人圖書師範科三人)アリ

今之ヲ前年度末ニ比スレハ入學者ニアリテハ本科ニ二人ヲ増シ選科ニ七人ヲ圖書師範科ニ一人ヲ研究生ニ六人ヲ減シ再入學ニ三人ヲ増シタリ退學者ニアリテハ病氣退學ニ一人ヲ家事係累退學ニ九人ヲ除名ニ八人ヲ死亡ニ一人ヲ減シ在學資格消滅ハ豫備科ニ一人ヲ研究生ニ二人ヲ圖書師範科ニ一人ヲ減シ轉科モ亦一人ヲ減シ(前年度一人アリカ本年度ニナシ)タリ

生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度末ニ比スレハ日本畫科ニ一人ヲ圖案科ニ六人ヲ金工科ニ二人ヲ製版科ニ三人ヲ臨時寫真科ニ一人ヲ研究生ニ十三人ヲ増シタルガ西洋畫科ニ五人ヲ彫刻科ニ一人ヲ鑄造科ニ一人ヲ漆工科ニ一人ヲ選科ニ一人ヲ圖書師範科ニ五人ヲ減シタルヲ以テ差引十二人ノ増加ヲ見タリ而シテ又此外ニアリテ本年度末ノ外國人ハ選科生中ニ支那人九人アリテ前年度末ニ比スレハ一人ヲ減セリ

本年度ノ卒業生ハ本科八十三人選科八人圖書師範科十八人計百九人ニシテ前年度ニ比スレハ三十人ノ増加ヲミタリ之レ主トシテ本科中ノ日本畫科卒業生ノ多カリシト製版科及臨時寫真科第一回ノ卒業生ヲ出シタルニ依レリ

生徒中學業品行殊ニ優等ナルモノヲ選ヒテ特待生トナシ大正六年九月ヨリ一學年ノ授業料ヲ免除シタルモノ二十人アリテ前年度ニ比スレハ三人ヲ増シタリ

圖書師範科生徒ニハ前年度ニアリテハ獎勵費トシテ一ヶ月金三円宛ヲ給シタルモノ十三人アリシカ本年度ハ毎月支給スルコトヲ廢シ學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノニ隨時等差ヲ附シテ獎勵金ヲ給与シタリ

大正七年三月末卒業スヘキ各本科選科生徒ノタメ同六年四月十二日ヨリ十六日間ヲ以テ教授一人囑託二人書記一人ヲシテ之ヲ引卒セシメ京都府及奈良縣ヘ出張シテ美術上ノ研究ヲナサシメタルコト前年ニ同シ

大正七年三月末卒業スヘキ圖書師範科生徒ヲシテ實地授業法調査研究ノタメ大正六年十月四日ヨリ十日間ヲ以テ教授一人ヲシテ之ヲ引卒セシメ京都府大阪府及奈良縣ヘ出張研究ヲナサシメタルコト前年ニ同シ

本校ハ皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ関シテハ申報スヘキ事項ナシ將來施設上重要ト認ムル件

製版科教室新築ノ件〔大正五年度報告と
同文につき省略。〕

寫真科本設置ノ件〔同右。〕

陳列館新築ノ件〔同右。〕

雜件

生徒實驗ノ資ニ供スルタメ諸所ノ依頼ヲ受ケ製作ニ從事シタルモノ、中重モナルモノヲ拵グレバ左ノ如シ

依嘱製作一覽

品名	数量	受託年度	本年度内竣工 未竣工	依嘱者
時鐘	壹個	前年度	竣工	益田彦五郎
内藤子爵銅像	壹軀	同	同	三宅正意
鶴鶴置物	壹對	同	同	三井八郎次郎
蒔絵卓子机	貳脚	同	同	下條康麿
書棚	壹個	同	同	華族會館
御書棚御料紙硯箱	壹揃	同	同	東宮職
鳳凰噴水塔	壹基	同	未竣工	藤田敏郎
御飾時計	壹個	同	同	東京市

『東京美術学校校友会月報』記事抜粋

東京美術学校近事 (一五七) 卷号
T・六・一・三一 年月日

● 辭令

雇助手 小泉 勝爾

任東京美術学校助教授 (大正五年十二月十一日付)

臨時雇 森泉 倉三

雇を命ず

文庫掛を命ず (同年十二月十二日付)

囑託 前川 謙三

依願解囑 (同年十二月十四日付)

文庫掛雇 板橋 進

依願解囑 (同年十二月二十一日付)

囑託 笠原 留七

依願解囑 (同年十二月三十一日付)

小林龜五郎

雇を命ず

製版科助手を命ず (大正六年一月八日付)

● 授業始の式 授業始めの式は例年の如く一月八日午前十時より大講堂に於て舉行せられたり。式は校長の式辭に始まり、御眞影奉拜、勅語捧讀にて了れり。

● 職員の年賀交換會 授業始めの式了りて後、職員一同は例の如く會議室に集り、吉例の大盃を舉げて新年を賀し、歡談時を移し散會したり。

● 生徒募集 本年四月入學せし^(む)びき生徒を募集す、詳細の事項を知らんとするものは郵券二錢を添へて申出づべし。

□ 募集人員

日本畫科 二十人 西洋畫科 三十人

彫刻科塑造部八人 彫刻科木彫部三人

圖案科第一部十人 圖案科第二部五人

金工科 五人 鑄造科 五人

漆工科 五人 製版科 八人

臨時寫真科 八人 圖畫師範科十八人

□ 入學願書提出期